

名寄市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で示す具体的な取組(見え消し)

○：実施者対象者

●：受け手

想定される取組			第1～2回委員会のご意見	対象			内部推進委員会からの意見	KPIの設定	評価指標
基本方針	施策	具体的な取組	内容・課題等	市民	事業者	行政			
基本方針1 省エネルギーの推進	環境に配慮した行動の推進	暖房や照明機器等の節電モードの利用や長時間使用しない時の電源OFF	暖房や照明のこまめな電源オンオフ	○	○	○		-	-
		マイカー利用を控え、徒歩・自転車・公共交通機関などによる移動	てくTECH活動との連動	○	○	○		-	-
		タールビズ、ウォームビズ、ナチュラル・ビズの実践	クールビズを実施		○	○	クールビズのみならず、ウォームビズを含むナチュラル・ビズに表現を修正	-	-
		エコドライブの実践		○	○	○		-	-
		ICT機器の活用による業務等の効率化	ドローンの活用、ICTを活用した教育		○	○		-	-
		働き方改革の推進	農閑期は時短労働		○	○		-	-
		宅配便の再配達の削減	宅配ボックスの設置補助	○	○			-	-
	省エネルギー性能の高い設備・機器の導入 建築物の省エネルギー性能の向上 ↓統合 省エネルギー性能の向上	HEMSやBEMSなどを活用した効率的なエネルギー管理	HEMSによってエネルギー使用量が見える化できる	○	○	○		-	-
		省エネ性能の高い設備・機器の導入	LEDを導入した	○	○	○	国は設備機器導入に補助を実施しており、市でも住宅の省エネ機器改修をずっと住まいる応援事業で支援を導入済み。	-	-
		既存住宅・既存建築物の断熱性、遮熱性向上	建物を白塗りすることで、遮熱性を高められる。白い建物の景観が名寄の特色になるのでは。	○	○	○	・色による効果は断熱性能では算定しておらず、構造の断熱性能などで省エネ性能を判断している。 ・断熱材以外にも窓やガラス、ドアの仕様替えによる省エネ効果もある。	-	-
		既存住宅の断熱改修工事の啓発	-	●	●	⊖	上記、「既存住宅・既存建築物の断熱性向上」に統合	-	-
		新築住宅・新築建築物へのにおけるZEH・ZEB基準等の省エネ性能水準の導入・向上	ZEBの建設を検討した	○	○	○	・ZEBは省エネ基準の一つである。「ZEBの導入」だと、ZEB・ZEH以外にも低炭素認定建築物、長期優良住宅も高い断熱性能の住宅（断熱性能がZEH水準）もあるため、取り組み名を変えてはどうか。 ・住宅・建築物の省エネ性能の「水準」を高めることにするか「ZEB検討」にとどめるところでどうか？	-	-
		ZEH・ZEBなどの導入促進	-	●	●	⊖	上記、「新築住宅・新築建築物におけるZEH・ZEB等の省エネ性能水準向上」と統合	-	-
		省エネ基準への適合指導	-	●	●	⊖	R7年4月から原則全ての建築物等が適合義務化され、施策取り組みではなく業務となるので不要と考える。	-	-
基本方針2 再生可能エネルギー等の促進	再生可能エネルギーの普及・活用	太陽光発電や蓄電池の導入	太陽光パネルの設置	○	○	○		○	太陽光発電設備を設置している公共施設数 基準年度：R5(2023)4件 目標年度：R12(2030)6件
		木質バイオマス、雪冷熱、風力発電等の導入	雪氷冷熱を農協倉庫で利用している		○	○		○	バイオマスなどの次世代エネルギー製造・活用拠点数 基準年度：R5(2023)2件 目標年度：R12(2030)3件
		水素エネルギーの調査・研究	水素エネルギーの活用		○	○		-	-
	再生可能エネルギーの導入促進	太陽光発電や蓄電池の導入促進				○		-	-
		PPAモデル等事業手法の周知・普及			●	○		-	-
		民間事業者との連携による地域新電力など事業体の検討			○	○		-	-
	再生可能エネルギーへの有効活用	市内の山林などで発生する未利用材(間伐材や林地残材など)の有効活用			○	○		-	-
		もみ殻の燃料への活用	もみ殻の活用(もみ殻を圧縮しペレット燃料にすることもできるがコストがかかり、工場も必要)		⊖		項目を削除	-	-
		ごみの焼却で発生する廃熱利用の検討				⊖	R9.4供用開始の施設で発生する余熱は、熱量が少ないことから、施設内の給湯やロードヒーティングとして利用することが決定されているため、他施設等で利用する計画はありません。	-	-
		下水汚泥の処理工程で発生する消化ガスの有効利用			○	○	汚泥を追加	-	-

名寄市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で示す具体的な取組(見え消し)

○：実施者対象者
●：受け手

基本方針	施策	想定される取組 具体的な取組	第1～2回委員会のご意見 内容・課題等	対象 市民 事業者 行政			内部推進委員会からの意見	KPIの設定	評価指標
基本方針3 循環型社会形成の推進	3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	排出される廃棄物の減量化		○	○	○		○	①家庭系ごみの排出量 (一般廃棄物処理広域化基本計画より) 基準年度:R30(2018)474.40g/人・日 R5(2023)8.173t 目標年度:R9(2027)415g/人・日 R10(2028)7.423t ②事業系ごみ排出量 (一般廃棄物処理広域化基本計画より) 基準年度:R30(2018)2.47t/事業所・年 目標年度:R9(2027)2.47t/事業所・年 (基準年度水準を達成しているため、基準年度の数値を維持する)
		廃棄物の適正な資源化の推進		○	○	○		○	リサイクル率(総資源化量÷ごみ総排出量) (一般廃棄物処理広域化基本計画より) 基準年度:R1(2019)15.4% R5(2023)23.3% 目標年度:R9(2027)16% R10(2028)23.8%
		食品ロスの削減		○	○	○		-	-
		割り箸・紙コップ等の使用自粛(マイカップ等利用促進)		⊖	⊖	⊖	上記、「排出される廃棄物の減量化」に統合		
		グリーン購入の推進		⊖	⊖	⊖	下記、「資源の再利用促進」に統合	-	-
		資源の再利用促進		○	○	○		-	-
		ペーパーレス化の推進	行政手続きのペーパーレス化、タブレットの使用	○	○	○		-	-
	廃棄物の適正処理	廃棄物処理施設の新設による、CO2排出量の削減 将来的なごみ処理方式の変更による、ごみの減量化及び資源化率の向上				○	新設による影響だけでなく、ごみ処理方式の変更による影響を含み表現を修正	-	-
		廃棄物処理施設の新設に伴う、ごみの適正分別等の周知徹底	高火力化、分別減が環境にいいのか疑問がある	⊖	⊖	●	下記、「ごみ分別ガイドブックやごみ分別ポスター、事業系ごみ分別排出マニュアルによる、ごみの適正な分別の推進」に統合	-	-
		ごみ分別ガイドブックやごみ分別ポスター、事業系ごみ分別排出マニュアルによる、ごみの適正な分別の推進		○	○	○		-	-
		分別排出指導の推進		●	●	⊖	上記、「ごみ分別ガイドブックやごみ分別ポスター、事業系ごみ分別排出マニュアルによる、ごみの適正な分別の推進」と統合	-	-
基本方針4 脱炭素型のまちづくりの推進	コンパクトなまちづくりの推進	まちなか居住等の推進		○		○		-	-
		空家等の流通促進、有効活用		⊖	⊖	⊖	下記、「中心市街地の空き家・空き店舗の有効活用」に統合	-	-
		まちなかへの居住等の促進				⊖	上記、「まちなか居住等の推進」に統合	-	-
		中心市街地の空き家・空き店舗の有効活用			○	○	空き家のみならず空き店舗の観点を追加	-	-
	公共交通の充実と物流の効率化	物流事業者との連携によるゼロカーボン物流の拠点機能構築			○	○		-	-
		物流の効率化	積み荷の待機時間削減		○	○		-	-
		除雪の効率化	除雪箇所の適正化		○	○	・ 除雪の効率化の取組であれば、市民アンケートの満足度は温暖化対策とは意味合いがそぐわないことから記載の削除を希望します。 ・ 除雪に関わる温暖化対策であれば、最新の除雪機械に更新をすることにより、排出ガスを抑制する取組とかであれば合致すると思われる。分類は、「省エネ性能の高い設備・機器の導入」とかに当てはまるかどうかでしょうか...	⊖	市民アンケートにおける「除排雪の状況」満足度 基準年度:R3(2021)1.40点 目標年度:R12(2030)市民満足度の向上
		効率的で利便性の高い公共交通網の形成	デマンドバスの利用	●	○	○		○	「のるーと名寄」利用者数 年度別1日当たりの利用者数 基準年度:R5(2023)34.82人/日 目標年度:R7(2025)50人/日
		次世代自動車の導入(PHEV、EV)	行政や貨物車両のEV車導入	○	○	○	次世代自動車振興センターからデータ提供あり。 (2009～2022年度の実績＝25台)	○	国の補助制度を活用した次世代自動車の導入台数 基準年度:R4(2022)25台(累計) 目標年度:R12(2030)100台(累計)
	次世代自動車の普及促進	電気自動車の充電施設の設置	公共施設や商業施設への充電設備の設置		○	○		-	-
		次世代自動車、充電施設の導入啓発		●	●	⊖	上記、「次世代自動車の導入(PHEV、EV)」に統合	-	-
		ゼロカーボン・ドライブの推進		○	○	○		-	-

名寄市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)で示す具体的な取組(見え消し)

○：実施者対象者
●：受け手

想定される取組			第1～2回委員会のご意見	対象			内部推進委員会からの意見	KPIの設定	評価指標
基本方針	施策	具体的な取組	内容・課題等	市民	事業者	行政			
基本方針5 CO2吸収源の確保	CO2吸収源	緑化活動や緑の保全活動の推進		○	○	○		-	-
		公園・緑地の保全				○		-	-
		適切な森林整備の推進		○	○	○		○	植栽・間伐面積 (森林経営計画より) 基準年度：R5(2023)45.51ha 目標年度：R9(2027)294.73234.50ha
		環境負荷軽減に配慮した農業の推進			○	○		-	-
		Jクレジット制度の活用	Jクレジットとして補助金をもらっている		○	○		-	-
基本方針6 環境教育・連携体制の推進	人材育成の推進	地球温暖化対策に関するイベント等への参画	脱炭素セミナーへの参加	○	○	○		-	-
		子ども向け小中学校における環境教育の実施	子どもから大人への意識醸成	●		○	学校教育の観点で表現を修正	-	-
	情報発信の充実	地球温暖化対策に関する出前講座やイベント等の開催	正しい情報発信が必要、脱炭素セミナーへの参加	●	● ○	○		○	地球温暖化対策に関する普及啓発活動実施回数 (広報・出前トークイベントなど) 基準年度：R5(2023)6回 目標年度：R12(2030)10回
		省エネ対策による家計へのメリットやエネルギーの見える化ツール等の情報発信	・省エネクイズが家庭の省エネ対策に有効 ・ほくでんエネモールによる電力の見える化	●	○	○		-	-
	連携体制の充実	Yorocaと連携したポイント制度導入やエネルギーの見える化等の推進事業の実施検討	・節電効果が見えると意識が高まる ・歩行距離とCO2削減効果の連動	●	○	○	表現を修正	-	-
		「名寄市省エネの日」の設立による、資源エネルギー庁実施の「夏の省エネ総点検の日」(8月1日)にあわせた集中的な省エネ対策の取り組み実施	名寄市全体で省エネ対策をする日を設立する	○	○	○	国の取組に合わせて市全体で実施することとし、表現を修正	-	-
		カヌー、サイクリングなど、CO2を出さない排出量の少ない体験型観光観光の推進	カヌーやサイクリングなど、CO2を出さない観光商品として推奨		○	○	表現を修正	-	-